

エレベーターのかごおよび昇降路寸法 JIS A 4301-1983

単位 mm

用途	記号	積載重 (kg)	最大員 (人)	かごの内のり寸法			昇降路の最小寸法		有効出入口寸法		参考 適用速度 (m/min)	
				A (間口)	B (奥行)	C (高さ)	X (間口)	Y (奥行)	W (幅)	H (高さ)		
一般乗用	P-6-CO	450	6	1400	850	2300	1800 ⁽¹⁾	1500 ⁽¹⁾	800	2100	45, 60	
	P-9-CO	600	9		1100		1800 ⁽²⁾	1750 ⁽²⁾			45~105	
	P-11-CO	750	11	1350	1600		2150 ⁽³⁾	2150 ⁽³⁾	900		1000	45~180
	P-13-CO	900	13				2350 ⁽³⁾	2300 ⁽³⁾	900			
	P-15-CO	1000	15	1600	1500		2350 ⁽³⁾	2100 ⁽³⁾	1000		1000	105~300
				1800	1300		2350 ⁽³⁾	2300 ⁽³⁾	1000			
	P-17-CO	1150	17	1800	1500		2550 ⁽³⁾	2150 ⁽³⁾	1100		1100	105~300
				2000	1350		2350 ⁽³⁾	2550 ⁽³⁾	1000			
	P-20-CO	1350	20	1800	1700		2550 ⁽³⁾	2300 ⁽³⁾	1100		1100	105~300
				2000	1500		2550 ⁽³⁾	2300 ⁽³⁾	1100			
P-24-CO	1600	24	2000	1750	2700 ⁽³⁾	2650 ⁽³⁾	1100	1100	105~300			
			2150	1600	2700 ⁽³⁾	2450 ⁽³⁾						
住宅用	R-6-2S	450	6	1050	1150	2200	1550 ⁽¹⁾	1700 ⁽¹⁾	800	2000	45, 60	
	R-9-2S	600	9		1520+480		1520	1550 ⁽²⁾			2100 ⁽²⁾	45~90
	RT-9-2S	600	9		1520+480		1520	2350 ⁽²⁾			2350 ⁽²⁾	
狭背用	B-750-2S	750	11	1300	2300	2300	2050	2900	1100	2100	30~60	
	B-1000-2S	1000	15	1500	2500		2300	3100	1200			
非常用	E-13-CO	900	13	1600	1350	2200	2250 ⁽³⁾	2250 ⁽³⁾	900	2100 ⁽⁴⁾	60以上	
	E-17-CO ⁽⁵⁾	1150	17	1800	1500	2300	2400 ⁽³⁾	2400 ⁽³⁾	1000	2100		

- 注 (1) 柔構造ビルの場合は、50mmを加えた数値とする。
(2) 定格速度90m/min以上105m/min以下の場合と柔構造ビルの場合は、それぞれ50mmを加えた数値とする。
(3) 定格速度105m/minを超え300m/min以下の場合と柔構造ビルの場合は、それぞれ100mmを加えた数値とする。
(4) 共同住宅用建築物に設ける場合は、2000とすることができる。
(5) 業務設置の非常用エレベーターとしての最小値である。

- 備考 1. 上表の昇降路の最小寸法は、剛構造の場合を示す。
2. エレベーターが2台以上並ぶ場合の昇降路の間口寸法は、次式による。
昇降路の間口寸法(mm) = $nX + (n-1) \times 150$
ここに、n：エレベーターの並ぶ台数
X：1台のエレベーターの昇降路の間口最小寸法 (mm) で上表による。